

2023年9月7日

シャープ株式会社

「顔認証（出欠確認）」と同時に「血管情報」「心拍情報」※1 「温度」※2を約5秒※3で一括測定し、クラウド上に自動記録

法人向け見守り／運動管理ソリューション 「i-wellebe（アイウェルビー）」の提供を開始



「i-wellebe」運用イメージ

(画像はイメージです)

シャープは、当社独自の非接触ヘルスケアセンシング技術を活用し、法人向け見守り／運動管理を目的としたヘルスケアソリューション「i-wellebe」※4を開発。本日より提供を開始します。

本ソリューションでは、カメラと赤外線センサーによる非接触でのセンシングが可能な専用機器を使い、対象者を顔認証（出欠確認）するとともに「血管情報」「心拍情報」「温度」を約5秒で一括測定が可能です。測定したデータはクラウド上に自動記録され、パソコンやタブレットなどから専用Webアプリ（管理コンソール）で対象者の一括管理や確認ができるほか、対象者ごとに日々蓄積された記録から「普段との違い（アクティビティレベル）」※5をお知らせします。

また、施設スタッフが専用機器を対象者の顔に向けるだけの簡単な操作で顔認証とデータの測定・自動記録が行えるので、スタッフの業務効率化にも貢献します。サービス付き高齢者住宅などの高齢者施設やフィットネスジムのほか、スポーツクラブ、カルチャースクールなど、さまざまな施設におけるICT化を支援します。

当社は今後も、本ソリューションの提案をはじめとしたデジタルヘルスケア事業を強化するとともに、法人向けビジネスのさらなる拡大に取り組んでまいります。

| 名 称 | 内 容 | 提供開始日 |
|--|--|-----------|
| 法人向け見守り／運動管理ソリューション i-wellebe アイウェルビー | ・顔認証（出欠確認）と「血管情報」「心拍情報」「温度」の一括測定、クラウド上への自動記録 ・「普段との違い（アクティビティレベル）」のお知らせ | 2023年9月7日 |

*本ソリューションはレンタル事業者とのご契約により、機器とクラウドサービスをセットでレンタルしてご利用いただきます。

<お客様お問い合わせ窓口> <https://jp.sharp/business/i-wellebe/contact/>

■ 主な特長

- 当社独自の非接触ヘルスケアセンシング技術を搭載した専用機器により、顔認証（出欠確認）と同時に「血管情報」「心拍情報」「温度」を約5秒で一括測定が可能
- 測定データはクラウド上に自動記録され、データ分析により「普段との違い（アクティビティレベル）」をお知らせ
- 高齢者施設やスポーツ施設などの見守り／運動管理ソリューションとして活用でき、施設スタッフの業務効率化や施設利用者の負担軽減を実現

※1 血管情報・心拍情報は、当社独自で取得したデータに基づき、統計学的処理により構築したモデルから推定した値であり、医学的に確立されたものではありません。

※2 赤外線センサーで対象物の表面温度を推定する温度計の技術を利用しています。

※3 使用環境によって測定結果が出るまでに約5~15秒かかることがあります。周囲の環境などにより正しく測定できない場合があります。

※4 本システムは見守り／運動管理を目的としたものであり、医療目的（疾病の診断・治療・予防等）の使用はできません。

※5 蓄積された対象者個人の記録と現状との比較を指標化します。

【 ホームページ 】 <https://corporate.jp.sharp/> (画像ダウンロード <https://corporate.jp.sharp/press/>)

【 本 社 】 〒590-8522 大阪府堺市堺区匠町1番地

【 お客様お問い合わせ先 】 お問い合わせ窓口 <https://jp.sharp/business/i-wellebe/contact/>

■ 主な特長

1. 当社独自の非接触ヘルスケアセンシング技術を搭載した専用機器により、顔認証（出欠確認）と同時に「血管情報」「心拍情報」「温度」を約5秒で一括測定が可能

専用機器を対象者の顔に向けるだけで、顔認証を行い登録された名前が表示されるので、施設での出欠確認に利用いただけます。同時に、当社独自の非接触ヘルスケアセンシング技術により、「血管情報」「心拍情報」「温度」を約5秒で一括測定することができるので、難しい操作は不要で顔認証から測定・データの自動記録までの一連の流れが完了します。

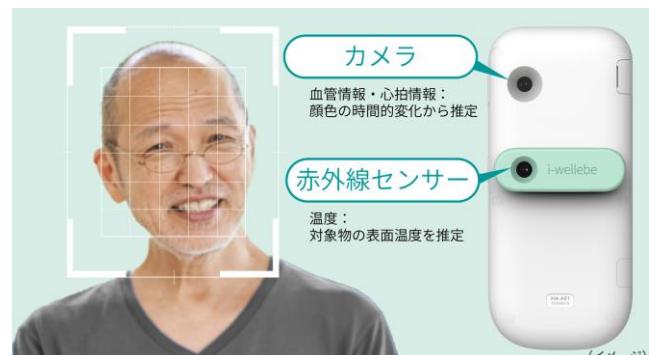


【当社独自の非接触ヘルスケアセンシング技術】

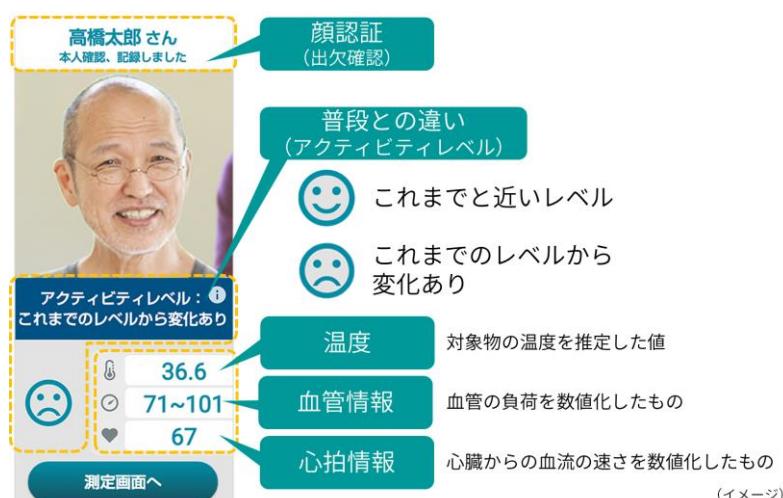
血液が流れる時の動脈の伸縮は、顔色の時間的変化に表れます。カメラで取得される動画像から、人の目ではわからない顔色の変化を検出し、当社独自で構築した推定モデルに入力することで、「血管情報」と「心拍情報」を算出します。

また、赤外線センサーで対象物の表面温度を推定する温度計の技術を利用して、「温度」を算出します。これら一連の処理をわずか約5秒で実行できます。

算出値は当社独自の推定値であり、医学的に確立されたものではありません。



※機器から対象者までは 約40cmの距離で測定してください



<画面表示例>

2. 測定データはクラウド上に自動記録され、データ分析により「普段との違い（アクティビティレベル）」をお知らせ

専用機器で測定したデータは、自動的にクラウドサーバーに記録されます。顔認証で対象者を判別できるので、個人ごとに記録を分類して管理が可能で、蓄積された対象者ごとの記録をもとに、「普段との違い（アクティビティレベル）」を機器で確認できます。機器とクラウドサーバーのデータ通信はLTE／5G通信で行われるので、無線LAN接続などの煩わしい初期設定は不要で、屋外でも手軽に使用できます。

専用Webアプリ（管理コンソール）では、施設内の対象者を一覧で確認でき、対象者ごとの記録については、測定結果一覧やグラフ表示に切り替えて確認が可能です。特定の時間帯や運動種別ごとのグラフに絞り込んで表示することもできるので、用途に応じて色々な視点から確認できます。専用Webアプリ（管理コンソール）は、今後さまざまな他社システムとのデータベース連携機能を拡張していく予定です。

＜専用Webアプリ（管理コンソール）画面：対象者一覧／対象者個人のグラフ表示＞



測定データの推移を
グラフで確認 →

3. 高齢者施設やスポーツ施設などの見守り／運動管理ソリューションとして活用でき、施設スタッフの業務効率化や施設利用者の負担軽減を実現

本ソリューションは、高齢者施設やフィットネスジムをはじめ、スポーツクラブ、カルチャースクールなど、さまざまな施設での見守り／運動管理に活用いただけます。（医療目的（疾病の診断・治療・予防等）の使用はできません）

たとえば、サービス付き高齢者住宅であれば、レクリエーション（体操・散歩など）参加者の出欠確認を顔認証で行うとともに、対象者個人の記録と現状とを比較して、体操や散歩などのメニューづくりの参考にすることができます。また、フィットネスジムでは、対象者個人の運動におけるトレーニングの効果・効率の向上や運動強度を管理することができます。

機器で測定する際、あらかじめアクティビティレベルを設定することで、より詳細な管理も可能です。たとえば、体操や散歩などのレクリエーションを行う際に、普段との違いを確認したり、運動を行う前後での効果を前回との違いとして確認したりすることができます。



■ 機器について

| | |
|-----------------------|--|
| 品名 | 非接触センシング機器 |
| 形名 | HA-A01 |
| 寸法 (高さ × 幅 × 厚さ) | 約 200 × 90 × 24mm ※突起部除く (最厚部 約40mm) |
| 質量 | 約330g |
| 連続測定回数 (目安)※6 | 約200回 |
| 充電時間※7 | 約4時間 |
| 電源 | ACアダプター 入力：AC100～240V 50～60Hz 出力：DC5V、1.0A |
| 通信方式 | LTE／5G |
| 防水性能 | IPX4 相当 |

※6 環境温度25°Cの場合。環境温度や使用される状態により、測定できる回数は変動します。

※7 同梱ACアダプターを使用し、25°Cの環境温度で充電した場合の時間。

■ 管理コンソール（Webアプリケーション）について

| | |
|--------|-------------------------------------|
| 対応ブラウザ | Google Chrome、Microsoft Edge、Safari |
|--------|-------------------------------------|

● Microsoftは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。その他記載された会社名、製品名などは該当する各社の商標または登録商標です。



非接触センシング機器 <HA-A01>

本製品に関する情報は、以下のウェブサイトでもご覧いただけます。
<https://jp.sharp/business/i-wellebe/>